

「八尾市環境総合計画（仮称）及び八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（仮称）」に対する
市民意見提出制度（パブリックコメント）の実施結果と市の考え方について

八尾市環境総合計画及び八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の見直しを行うにあたり、八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例第 12 条の規定に基づき、市民意見提出制度（パブリックコメント）を実施しました。その結果と提出された意見に対する市の考え方を公表します。

ご提出いただいたご意見等は、趣旨を損なわないよう要約するとともに、同じ趣旨の意見については、まとめて回答します。

（1）意見募集期間

令和 3 年 1 月 4 日（月）～令和 3 年 2 月 3 日（水）

（2）提出人数及び意見数

提出方法	提出人数 (人)	意見数 (件)	1. 八尾市環境総合計画	2. 八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
直接持参	0	0	0	0
電子メール	2	4	2 (内 1 件は八尾市地球温暖化対策実行計画にも関連する意見)	2
FAX	1	1	1 (八尾市地球温暖化対策実行計画にも関連する意見)	0
郵便	1	4	4 (内 2 件は八尾市地球温暖化対策実行計画にも関連する意見)	0
合計	4	9	7	2

(3) 提出された意見の要約及び市の考え方

番号	該当箇所	意見・提言内容	市の考え方	修正の有無
1	八尾市環境総合計画 4-2 施策の展開 施策11 快適な都市環境の確保	市内において里山保全など、山手における施策展開による自然環境との共生・ふれあい事業はあるが、市街地における自然環境と触れ合うための方策についてさらに明言されたい。	基本方針Vの施策11では、「快適な都市環境の確保」として、市街地の中小河川や公園、緑地等の身近な水や緑を市民や事業者が日常的に親しめる空間として整備するとともに、市民や事業者による緑化を促進することとしています。市街地における自然環境や緑とのふれあいについては、快適な都市環境を確保しながら、推進していきたいと考えております。	無
2	八尾市環境総合計画 八尾市地球温暖化対策実行計画	環境負荷を考える中で、生活圏内においては規制による市民参加やまた教育啓発だけではなく、緑化率の増加や生活様式の変化において、脱炭素化への意識改善などが可能と考えるが、そうした「市民の生活」などについて、市側の施策はどういった方向性を示すのか。例えば、公共交通機関の推進については言及しているが、実際の公共交通網や使用料金については改善しないのか。	市の取組は、「市民の生活」による環境負荷をより一層低下させるための啓発や情報提供、支援等が中心であると考えています。 また、八尾市環境総合計画では、本市の様々な分野の取組に関して環境面からの方向性を示し、公共交通や防災などの個別計画がある分野の取組の詳細は個別計画が担うこととしており、関係部局とも連携して取り組んでまいりたいと考えております。	無
3	八尾市環境総合計画 八尾市地球温暖化対策実行計画	全体的によく整理され、まとめられていると思いますが、専門用語が多く、全体的に内容が難しいと感じました。 子どもから大人まで、誰もが理解しやすく、手に取って読んでいただけるようなリーフレットのようなものをぜひ作っていただき、市民や事業者に周知いただけたら、一人一人の地球温暖化対策の取組にもさらにつながるのでないでしょうか。	八尾市環境総合計画及び八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）では、計画の概要版を作成する予定です。ご意見を踏まえまして、概要版では、市民や事業者にわかりやすい内容とするよう努めてまいります。	無

番号	該当箇所	意見・提言内容	市の考え方	修正の有無
4	<p>八尾市地球温暖化対策実行計画</p> <p>1-2-5 脱炭素社会実現に向けた潮流</p>	<p>「カーボンゼロシティ」の意味は「排出量実質ゼロ」(脚注:「人為的な発生量と森林等の吸収源による除去量との間の均衡の達成」となっていますが、除去量が示されていません。国は80%削減と言っているのです、20%と考えてよいのでしょうか。</p>	<p>再生可能エネルギーの促進、技術革新の導入・社会転換への柔軟な対応などにより、二酸化炭素排出量削減を加速していく必要があると考えています。</p> <p>また、森林面積の限られている本市では、森林等の吸収源で除去できる温室効果ガス排出量の削減だけでなく、市域外での貢献等の手法を用いることで、二酸化炭素排出量実質ゼロをめざすこととしています。</p>	無
5	<p>八尾市地球温暖化対策実行計画</p> <p>2-2 これまでの取組の総括</p> <p>(3) 新たな目標の設定</p>	<p>目標の設定に当たっては、「中間目標を達成することは極めて困難です」。「エネルギー消費量を削減することは～現実的ではありません」と現状を分析し、「目標水準を引き下げること等も検討しました」と述べています。</p> <p>しかし、削減の必要性は変わっていないとして、削減目標は従来の考えを踏襲しています。「挑戦的な水準を承継」とした意気込みは理解できますが、目標を努力目標で終わらせないためにも、実現可能な施策を積み上げて削減量を算定し、短期目標は現実的に達成できる数値を示してはいるかがでしょうか。</p>	<p>国の地球温暖化対策計画では、令和12年(2030年)に達成できると考えられる取組を最大限に積み重ねてマイナス26%という目標を算出しており、本市の目標は、国の取組等に加えて、市による独自の取組を進めることにより、国の目標以上をめざすという考え方となっており、現実的に達成できる可能性がある目標として示しています。</p> <p>また、長期目標については、令和32年(2050年)の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざすとし、目標と現状の差を認識した上で、その差を埋めるための取組を戦略的に推進していきたいと考えております。</p>	無

番号	該当箇所	意見・提言内容	市の考え方	修正の有無
6	八尾市環境総合計画 八尾市地球温暖化対策 実行計画	地球温暖化は市民生活において待ったなしの課題です。海面は上昇し、気温は年々上昇し、大きい災害が続いています。今、市民一人一人が肌で感じています。でも自分は何が出来るのか？と考えると止まってしまいます。八尾は市街地、山地、農地があり、バランス取れた町です。まず、+（プラス）の山地や農地を大切にしたいです。（ボランティアも含めて）	ご意見を踏まえまして、今後の計画推進の中で十分に留意して、推進していきたいと考えております。	無
7	八尾市環境総合計画	地産地消を進め、個人の農家さんを応援して欲しいです。学校給食も、季節の地場野菜（米も）を使う努力をして欲しいです。遠くからガソリンを使って買うのは、出来るだけ控えて欲しい。生産者の顔が見える給食を。子ども達と考える教育を進めて欲しいです。	八尾市の小学校給食では、八尾市内の生産者などと連携して、地場産品の枝豆・若ごぼう・小松菜・八尾産米を提供しており、八尾スクール食育ネットや各校の給食だよりなどで、地場野菜や生産者などの紹介・食育への活用をしているところです。 今後も引き続き、地場産品の提供を進めてまいりたいと考えております。	無
8	八尾市環境総合計画 八尾市地球温暖化対策 実行計画	避難所になっている学校やコミセン等は太陽光発電がついていますが、電気が来なくても、最低限の電気が使えることは大切です。子ども達への教育にも活用し、市民からのクラウドファンディング等で可能な限り太陽光パネルの設置をお願いします。	ご意見を踏まえまして、今後の計画推進の中で十分に留意して、推進していきたいと考えております。	無
9	八尾市環境総合計画	換気のために窓を開けると、ヘリコプターの音がすごいです。飛行機も多いです。八尾空港の運営は、八尾市ではないかと思いますが、その騒音や大気汚染は八尾市民（地球人）に大きく影響しています。飛行機の排出ガスはとて多く、自動車の比ではないと聞きました（ぜひ注視願います）	ご意見を踏まえまして、今後の計画推進の中で十分に留意して、推進していきたいと考えております。	無